

神奈川県立中央農業高等学校

農業クラブ本部

高校生ボランティア・アワード2021

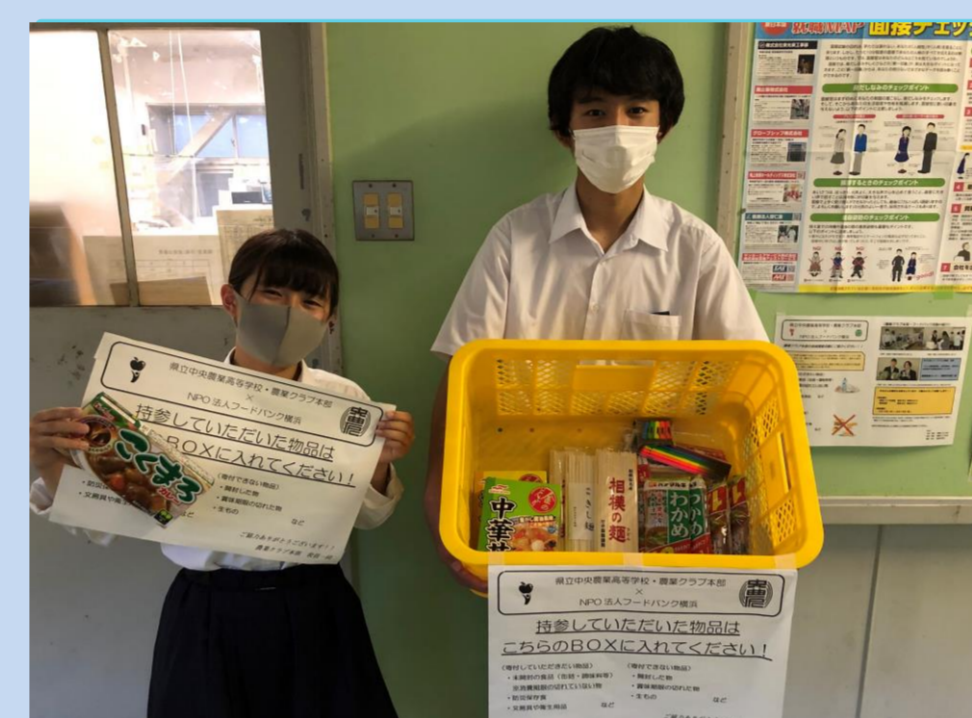


SDGs
私たち一人ひとりの
行動が、
未来につながる。
SDGs未来都市 神奈川県

「農業高校生が取り組むフードバンク」

近年、「SDGs」という言葉をテレビ番組などで、耳にすることが増えたような気がしませんか？私達、高校生の中には「SDGs」という言葉を聞いたことはあっても、私たちに出来ることは何かあるのか、分からない人たちが多くいるのではないかと思います。私たち農業クラブ本部は、SDGsの17の目標のうち、7つの目標を実現することができる、フードバンクという活動を見つけました。実際に農業クラブ本部がフードバンクの会場に足を運び多くのことを学ばせていただきました。「この活動を家族や友達にも知ってもらいたい！」そんな思いから、中央農業高校でも、校内フードバンクを開催しました。校内フードバンクの開催期間中には多くの在校生に興味・関心を持っていただき、積極的に参加していただくことができました。

他にも、文化祭で、フードバンク活動の紹介を行い、保護者の方にも、フードバンク活動を知ってもらうことができました。私達、高校生が行った活動が実際にフードバンクの力になれたことを実感し、とてもうれしかったのを覚えています。神奈川県はSDGsの推進をしています。



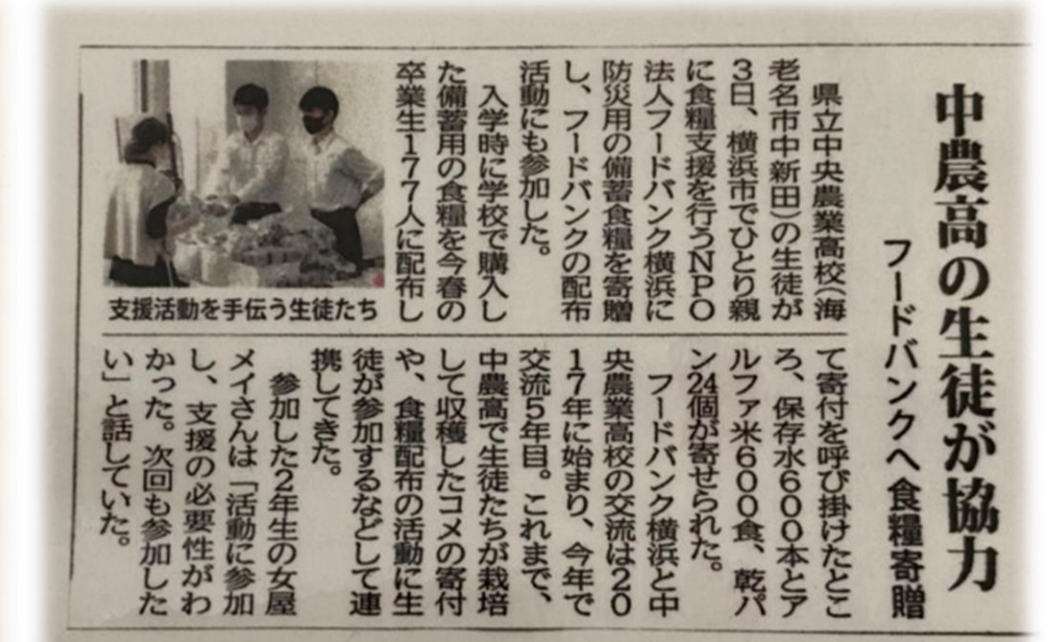
「海老名から全国へ発信！」

私たちはこの活動を学校から全国に発信するために神奈川県学校農業クラブ連盟主催「活動成果発表会」に出場。

第24回ボランティア・スピリット・アワードでは首都圏ブロック・コミュニティ賞を受賞。

また、地元JAの広報誌、地元紙タウンニュースや日本農業新聞に私たちの活動を掲載していただきました。

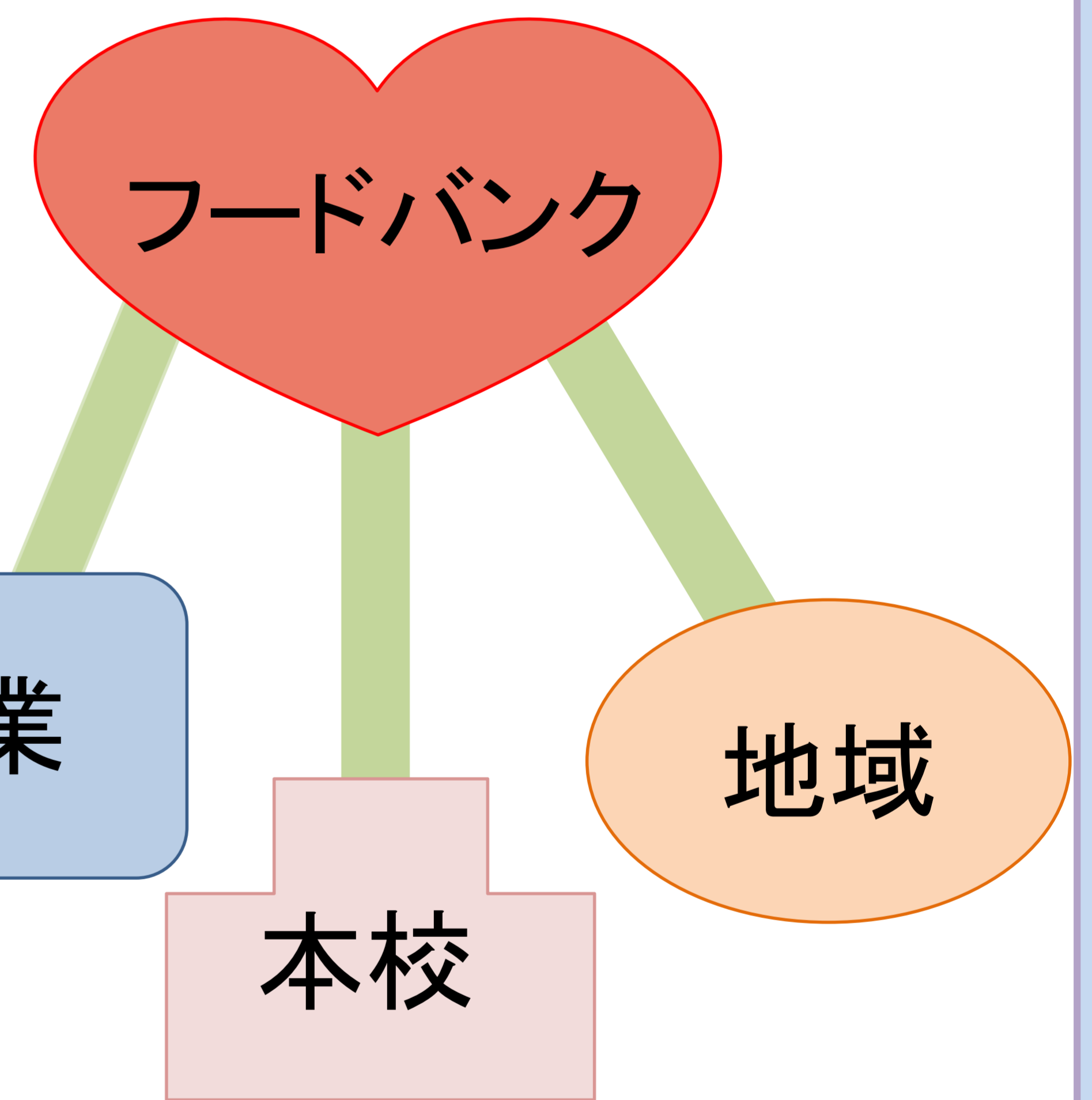
今回の大会出場や新聞などの掲載により多くの人に私たちが行っている活動を知ってもらうことができました。



「フードバンクってどんな活動？」

私たち、農業クラブ本部は学校内の活動だけではなく、校内の方々と関わる活動を行っています。その中から今回は活動について紹介していこうと思います。

「フードバンク」（ひとり親支援）という活動です。この活動ではまだ食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品などを引き取り必要としている人へ提供するというものです。私たちの学校で回収した食品だけではなく、市内の高校に声を掛け水や乾パンなどの防災保存食も寄付しています。この活動を行うことにより、実際に足を運んでくださる方とのコミュニケーションを取れたり、食品ロス問題という観点から食品の大切さを学ぶことができるとても大切な活動です。また、企業や地域と連携し今必要としている、ひとり親の方々に食品などを寄付することができました。



企業・地域・中央農業高校でフードバンクを支えることができました。

「農業高校生だからこそできること」

「SDGs」・「フードバンク」という言葉を聞いて、少し難しく感じてしまったり「どういう活動なのか」疑問を持つ人いると思います。そんな人も学校内の活動を通して「内容が分かるようになった」、「興味が出た！！」と言ってもらえるようになったらうれしいです。今後も校内フードバンク、文化祭での活動などの紹介を続けていき、在校生や保護者、地域の方々にも幅を広げ、理解を深めていただけるように頑張りたいと思います。

高校生という小さな力ですが、「フードバンク」に参加し、社会に貢献することができることを様々な大会や発表会に出場することで、多くの方に広まり、全国の高校生が「自分にもできることがあるんだ」と知って「私もやってみよう」という気持ちに少しでもなってもらいたいと思います。

また、農業高校では実習を通して「いのちの大切さや尊さ」を肌で感じ学びます。可能な限り自らの手で栽培した野菜や加工品などを寄贈することで農業と福祉を私たちの手で繋げ、コロナ渦の負けない笑顔溢れる社会作りに貢献することに目標にさらに活動していきたいと思ひます。



活動団体プロフィール

神奈川県立中央農業高等学校 農業クラブ本部

- ・1学年 1名
- ・2学年 6名
- ・3学年 10名 計17名

本校では園芸科学科、畜産科学科、農業総合科の生徒が学年・学科に関係なく、所属しています。

校内：農業クラブ活動に関する大会の運営などを行っています。
校外：学校を代表して県内農業高校生の会議に出席し、意見交換会。また、地域イベントへの参加。隣接する支援学校の子どもたちと交流会を実施しています。